## 平成 23 年度事後評価:決算

# 事務事業マネジメントシート

事務事業名	電算システム開発事業	<b>所属部</b> 総務部 <b>所属課</b> 情報システム課
	総 〈VI〉推進計画・地域経営によるまちづくりの推進	<b>所属G</b> 情報システムグルー <b>課長名</b> 古林 茂
施策名		担当者名 末次 治良 電話番号 0854-43-8310 (内線) 4700
基本事業名	体系 〈108〉業務と組織機構の見直し	<b>予算   会計   款   項   目   </b> 中事業   電算総務管理費   <b>科目   0</b>

# 1 現状把握の部

## (1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
■ 単年度のみ	雲南市の電算システムは住民票、印鑑、税システム等基幹系ネッ	
	トワークを利用したシステムから、財務会計システム、文書管理シス	合併と同時に電算システムを構築したが、制度改正
☑ 単年度繰返	テム、人事給与システム等情報系ネットワークを使用した様々なシ	等による電算システムのプログラム改修は必要不可
( 16 年度~)	ステムがある。現行法制度に即応したシステムに保つため、プログ	欠である。また、より使い勝手のよい電算システムとな
☑ 期間限定複数年度	ラム改修が逐次必要となる。また、利便性向上のための改修や導	るよう逐次プログラム改修を行っている。
(年度~年度)	入等も含む。	
	W II	21年度 22年度 23年度 24年度 25年度 全体

#### (2)トータルコスト

## ①事業費の内訳(概要) システム改修委託料

法・制度改正対応 滞納管理業務追加対応 その他(旅費、需用費) 12,176千円 2,021千円 28千円

# ②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)

業務担当課との調整

システム改修委託業務管理

新規システム開発委託業務管理

			単位	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)	計画
	財	国庫支出金	千円	5,590	5,745				
事		県支出金	千円			3,966			
業		地方債	千円						
費		その他	千円						
貝		一般財源	千円	18,596	12,849	10,259	30,106		
	事	業費計(A)	千円	24,186	18,594	14,225	30,106	0	
人	正規	見職員従事人数	人	5	6	6	6		
件		延べ業務時間	時間	2,197	2,682	1,618			
費	1	人件費計(B)	千円	8,379	10,428	6,378	0	0	
<b> -</b>	ータノ	レコスト(A)+(B)	千円	32,565	29,022	20,603	30,106	0	

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

	23年度実績(23年度に行った主な活動)
手	既存システムのプログラム改修委託。新規システムの導入。軽微なプログラムの作成及び改修、プログラム改修に伴う打合せ。

24年度計画(24年度に計画している主な活動)

平成23年度と同じ

指標名	単位	21年度	22年度	23年度		25年度	最終
	件						(目標)
		0	2	0	0	0	
プログラム改修等直営件数	件	16	 17	3	20	10	
	活動指標 プログラム改修委託件数 新規システムの導入件数	活動指標 単位 プログラム改修委託件数 件 新規システムの導入件数 件	活動指標 単位 (実績)   プログラム改修委託件数 件 22   新規システムの導入件数 件 0	活動指標 単位 (実績) (実績)   プログラム改修委託件数 件 22 17   新規システムの導入件数 件 0 2	活動指標 単位 (実績) (実績) (実績) (実績)   プログラム改修委託件数 件 22 17 11   新規システムの導入件数 件 0 2 0	活動指標 単位 (実績) (実績) (実績) (目標)   プログラム改修委託件数 件 22 17 11 10   新規システムの導入件数 件 0 2 0 0	活動指標 単位 (実績) (実績) (実績) (目標) (目標)   プログラム改修委託件数 件 22 17 11 10 10   新規システムの導入件数 件 0 2 0 0 0

	② 対象(誰、何を対象にしているのか)		指標名	単位	21年度	22年度		24年度	25年度	最終			
			⑥ 対象指標		(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)			
	<ul><li>①電算システム</li><li>②各課・職員</li></ul>		アシステム数	本	45	47	47	47	47				
E			イシステム活用職員数	人	568	558	549	538	527				
占	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)		7 成果指標										
н	①現行の法制度にのっとった電算システ		ア 現行法制度改正によるプログラム改修実現割合(改修数/各課必要数)	%	100	100	100	100	100				
	ムの稼動ができる。 ②より使い易い電算システムの稼動がで		イ 原課の要望により行ったプログラム改修件数	件	24	21	6	20	10				
	きる。		ゥ										
L	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)		8上位成果指標										
位	効率、公平なサービスを提供する。		ア 市民満足度(雲南市の行政サービスに納得している市民の割合)	%	66.7	67	66.7	70	70				
目的	効率、公平はり一こ人を提供する。		1										

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く	状況(対象者や根拠法令等)は
どう変化しているか?	開始時期あるいは5年前と比
べてどう変わったのかり	?

機器の老朽化やシステム陳腐化に対応し、複雑化する業務に対処するため平成23年度において基幹系業務システムの更新を実施した。

# ②この事務事業に関する これまでの改革改善の取り組み経緯

軽微な改修は、外部委託を行わず職員がシステム改修を行い経費削減を行った。また、プログラム作成の必要がない集計処理などは、プログラム作成せずデータベース処理をメニュー化して対応した。

#### ③この事務事業に対して関係者 (市民、議会、事業対象者、利害関係者等)から どんな意見や要望が寄せられているか?

H21年度の議会決算審査特別委員会で、システム 開発経費をもっと削減できないかという意見があっ た。

雲南市(H22年4月改正版)ver.1.1

	事務事業名	電算システム関	昇発:	事業		所属部	総務部	所属語	開 情報システム課	
2	評価の部(SEE) オ ①政策体系との整			見直し余地があ	る ⇒【理	甲プシ	i ⇒3 今後の方	向性•改革改	善に反映	
	この事務事業の目的 策体系に結びつくか が結果に結びついて	?意図すること	~	結びついている 現行法に基づい		<b>望由】</b>	改修により、時代	にあった行政サ	ービスの実現につながる。	
的妥当性	② 公共関与の妥			見直し余地があ 妥当である		画子	⇒3 今後の方	向性•改革改	善に反映	
	なぜこの事業を市(F ればならないのか? て、達成する目的か	税金を投入し	a	電算システムで ある。	行っている	業務は、	去律に基づくもの <sup>、</sup>	や市民のためん	こ実施しているものであり、公	共性が
価	③ 対象・意図の妥当性			見直し余地があ 適切である		画づ	⇒3 今後の方	向性•改革改	善に反映	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか			システム全体を	対象にして	おり、限分	<b>E</b> してはならない。			
	④ 成果の向上余			向上余地がある 向上余地がない		神プシ	⇒3 今後の方	向性·改革改	善に反映	
	成果を向上させる余 成果の現状水準とも 差異はないか?何か 上が期待できないの	5るべき水準との が原因で成果向	·	プログラム改修	等を業者す	- ▼ E託せずに	・職員の手で行え 成する必要がある		!に応えることができるが、その	のため
有	⑤ 廃止・休止の原			影響無 ⇒【理 影響有 ⇒【そ		<u> </u>	⇒3 今後の方	向性·改革改	善に反映	
効性	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?					•	改修により、初め、	てシステムの運	用ができる。	
評価	1(6) 類似事業との網	流廃合・連携の		他に手段がある	<b></b> (]	具体的な	手段, 事務事業	:)		
	目的を達成するには 以外他に方法はない との統廃合ができる	いか?類似事業		<ul><li></li></ul>				今後の方向性	・改革改善に反映	
	の連携を図ることに上が期待できるか?	より、成果の向		類似事業はない		я <b>д 1 . А</b> .				
	⑦ 事業費の削減	余地		他に手段がない 削減余地がある 削減余地がない	5 ⇒【理	神る	⇒3 今後 <i>0</i>	方向性・改革	改善に反映	
効率	   成果を下げずに事業  ないか?(仕様やエ   民の協力など)					- •	委託せずに、職員	ですることによ	の事業費の削減につながる。	
性評	8 人件費(延べ第 減余地	美務時間)の削				曲】つ	⇒3 今後 <i>0</i>	方向性・改革	改善に反映	
価	やり方の工夫で延っ 減可能か?成果を「 以外や委託でできな	下げずに正職員			グラム改修		委託することにより を利用することで、		につながる。 アウトソーシンク ができる。	, ASP
	⑨ 受益機会・費用			見直し余地があ			⇒3 今後の	方向性・改革	改善に反映	
性評	化余地 事業内容が一部の いて不公平ではない	\か?受益者負	<b>Y</b>	公平・公正であ 全ての職員、課		•	すべての住民に	つながっている		
3	担が公平·公正か? 評価結果の総括。	と今後の方向性	(次	(年度計画と予	算への反					
(1)	)1次評価者として					(2) 全	全体総括(振り返	り、反省点)		
	① 目的妥当性 ② 有効性 ③ 効率性	□ 適切 □ 適切		<ul><li>□ 見直し命</li><li>☑ 見直し命</li><li>☑ 見直し命</li></ul>	:地あり :地あり		ステム更新を実 に留めた。	施したため、	既存システムの改修は必!	要最小
(3)	④ 公平性 	☑適切	<del></del> \	□ 見直し余				•	/A) 75 T 75 T 10 T 10 T 10 T	<del></del>
	)今後の事業の方   廃止 □ 休止  事業のやり方改善(  事業のやり方改善(	□目的再設 有効性改善)		<ul><li>□ 事業統廃</li><li>☑ 事業のや</li></ul>	合・連携 り方改善(		善) 革改善をしない)		(4) 改革・改善による期行 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	システム更新によ アプリケーションソン 率性を高める。また	フトを使用して稲	銭員	の手でデータダ	0理を行う	うことにより	)、システム開発	を減らし効	上	×
	本的な見直しも含む	めた検討が必要	きでも	ある。			VVV (ASPV)	'们用 守、似	低 ×   ×   (廃止・休止の場合は記	× 入不要)
(5)	)改革,改善を実現	またなな 世	すべ	・さ課題(壁)と ・	その解決	東	日日 百万 子へを言うは ユミ さ	ソ亜ベキル 戸	たの奴略とナナフ たた	のみっと

システムのプログラム改修等、業者を介さずに職員の手で行うには専門的な知識が必要であり、長年の経験を有する。毎年の法改正により業務が年々複雑化しており、システム改修を行うにも制度を熟知していることが必要不可欠である。また、アウトソーシング、ASPの利用等、根本的なシステムの見直しをすれば、人件費の削減はできると考えられるが、膨大な初期投資費用が発生する。また、既存資産の活用、ランニングコスト等さまざまな課題を検討する必要がある。